

おかやま 労 福 協

一般社団法人 岡山県労働者福祉協議会

(No.253) 2025・1・1発行

発行所：一般社団法人岡山県労働者福祉協議会

TEL.086 (253) 1569 FAX.086 (253) 0999

〒700-0086 岡山市北区津島西坂 1-4-18

【URL】 <http://oka-rofuku.com/>

発行人：堅田 裕之

印刷所：株式会社創文社 086 (244) 1155



新年あけまして
おめでとうございます。



岡山城（鳥城）

目次

●年頭のごあいさつ

岡山県労福協 会長 森 信之……………P 2

岡山県 知事 伊原本隆太……………P 3

連合岡山 会長 森 信之……………P 4

中国労働金庫東部工リア営業本部
本部長 金澤 稔……………P 4

こくみん共済coop岡山推進本部
本部長 原田 茂……………P 5

岡山県生協連 会長理事 平田 昌三……………P 5

●中央労福協

「奨学金返済と教育費負担軽減」の取り組み……………P 6

●西部労福協

第9期理念・歴史・リーダー養成講座……………P 7

第42回研究集会……………P 7

●岡山県労福協

役員学習会……………P 8

研修会……………P 8

出前講座……………P 9

生活応援基金……………P 9

●玉野地区労福協 ご紹介……………P 10

●こくみん共済coop岡山推進本部……………P 11

●中国ろうきん……………P 12



2025年 年頭あいさつ

一般社団法人 岡山県労働者福祉協議会
会長 森 信 之



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、岡山県労福協の諸活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

私たちの生活は、実質賃金が6月には27ヵ月ぶりにプラスに転じたものの、物価の高止まりなどで8月には再びマイナスに転じ、10月は横ばいとなりましたが、苦しい状況が続いています。労福協が果たす役割は、益々大きくなり、「連帯」、「協同」、「助け合い・支えあい」の社会を実現するための取り組みを強化していきます。

岡山県労福協は中央労福協や西部労福協の活動に積極的に参加するとともに、労働者自主福祉運動の歴史・理念の研修や労福協運動の推進、高校生のための出前講座、生活困窮者・子ども食堂への支援など地区労福協との連携強化を図り、活動を進めてきました。また、「高等教育費や奨学金返済の負担軽減」を求める団体賛同・個人署名の取り組みでは、11月末時点で全国17,000筆を超える個人署名が集まっています。1月31日の最終まで引き続きのご協力をお願いします。

本年は国際協同組合年です。国連はSDGsの実践に向けた協同組合の実践や社会・経済の発展への貢献に対する認知を高め、協同組合を振興することを各国政府などに求めて、2025年を2回目の国際協同組合年に決めました。労福協も2025国際協同組合年を契機とした協同組合運動・労働者福祉運動の更なる発展や地域でのつながりをめざして取り組みます。岡山県労福協も中央労福協の方針を基に活動を進めていきます。

時代に即した運動スタイルにチャレンジし、運動を前進させるためには、労福協・労働組合・福祉事業団体が連携し、一丸となって取り組むことが必要であり、「誰一人とりのこされない」持続可能な社会を創造するために労働者自主福祉活動を進めていきます。今まで以上に、連合岡山、労働金庫、こくみん共済coop、岡山県生協連の皆様との「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を拡げるとともに、公的セーフティーネットを拡充させ、誰もが安心して暮らし、働くことのできる社会をめざして、社会的な役割を果たしていきます。

本年も岡山県労働者福祉協議会に対しまして、皆さんの格段のご支援・ご協力をよろしくお願いすると共に、皆様とご家族にとりまして、健康でご多幸な年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。



すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き活き岡山」を目指して

岡山県
知事 伊原 隆太



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このたび、引き続き県政を担わせていただくことになりました。重責に、改めて身の引き締まる思いです。

私は知事就任以来、本県発展の好循環の起点として、「教育の推進」と「産業の振興」の2つの柱を政策の中心に掲げ、さまざまな取り組みを強力に進めてまいりました。その結果、小・中学校ともに全国平均並みまで学力が回復、定着し、また、新規企業等の投資額が累計で1兆円を超えるなど確かな成果が現れてきています。しかしながら、人口減少、とりわけ少子化につきましては、これまでの対策を上回る勢いで進んでおり、なお一層厳しさを増している状況です。

現在策定を進めております、来年度からの4年間を行動計画期間とする「第4次晴れの国おかやま生き活きプラン」では、「教育の推進」と「産業の振興」の2つの柱を継続しつつ、待ったなしの課題である「少子化対策」を地域活性化の基盤を担う重要な政策として新たな柱に加え、不退転の覚悟で向き合いたいと考えております。

「教育の推進」では、引き続き、学ぶ力の育成や、徳育・体育の推進に取り組むとともに、不登校への対応など多様な教育ニーズへの支援も充実させてまいります。

また、「産業の振興」では、企業誘致と投資の促進、中小企業の稼ぐ力の強化に取り組むとともに、今年開催の大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭を見据えた観光振興にも力を入れて取り組んでまいります。

さらに、「少子化対策」については、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまでのライフステージに応じた切れ目ない支援などに取り組みながら、結婚支援の重要性に着目し、出生数に響くより効果的な施策を検討し、積極的な展開を図ってまいります。

昨今、文化やスポーツの世界において、岡山の若者が国内外で大きな活躍を見せる、いわゆる「岡山旋風」が巻き起こっています。岡山で生まれ育った県民が夢に向かって思う存分能力を発揮し、県民誰もが岡山を誇りに思う、そんな私が目指す岡山に近づきつつあると感じております。これまでの取り組みによって生まれた好循環の流れをさまざまな分野に波及させ、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に全力で取り組んでまいります。皆さまのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 岡山県連合会
会長 森 信之



新年あけましておめでとうございます。

岡山県労働者福祉協議会 会員の皆様には、ご家族とともに穏やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年は、連合岡山の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

連合の2024春季生活闘争結果は、33年振りの高水準となりましたが、実質賃金は物価の高止まりなどで改善されず、私たちの生活は厳しい状況が続いています。このような時代には、労福協の活動が益々求められています。

連合岡山は、すべての働く仲間の「必ずそばにいる存在」となれるよう運動を進めていきます。そのためにも労福協が取り組まれている「2030年ビジョン」を共有し、貧困対策などの政策制度の充実・改善を求めています。誰一人取り残されることのない、持続可能で包摂的な「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、共に前進させていきましょう。

岡山県労福協・各地区労福協の益々のご発展、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

以上



新年のご挨拶

中国労働金庫東部エリア営業本部
本部長 金 澤 稔



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、中国労働金庫の事業推進につきまして、格段のご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

2024春闘の結果を受けて、日銀は昨年3月「賃金と物価の好循環」が見通せると判断し、2007年以来17年ぶりに利上げを決定しました。これを受けて、日本は少しずつ「金利のある社会」に向かっていますが、物価高騰などにより実質賃金は低下し、勤労者の生活はますます苦しくなっています。

中国労働金庫は、「働く人の夢と共感を創造する」ことを使命と考え、労福協と連携した家計の見直し運動やキャッシュバックなどの良質なサービスを通じて可処分所得の向上に努めています。4月からは業容拡大ブロック（岡山ブロック、倉敷ブロック）をスタートさせ、また同時に業務改革を進めることにより持続性のある健全な経営を維持し、働く人とその家族の幸せを第一に考え、「人」と「人」とのつながりを大切にした推進を引き続き展開してまいります。会員・間接構成員の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

皆さまの今年1年のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

こくみん共済 coop 岡山推進本部
本部長 原 田 茂



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご家族とともに穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、こくみん共済 coopの諸活動に対するご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、2024年1月1日に発災した令和6年能登半島地震において、こくみん共済 coopでは2万件以上の被災受付を行い、全国から延べ1,080名の職員が被災地へ赴き、調査活動を行いました。その結果、皆さまからお預かりした掛金を、被災した組合員へ、143億円を超える共済金としてお届けすることができました。

また、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念の実現のため、自分への備えが誰かの支えになる「被災地応援プロジェクト」の展開を進めています。

今後も労福協と連携をしながら「暮らしを守る」「地域を守る」「未来を守る」取り組みを進めてまいりますので、引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

皆さまの益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

岡山県生活協同組合連合会
会長理事 平 田 昌 三



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、日頃より生協の活動にご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年、能登半島では、元日の地震の復旧もままならない9月に豪雨災害が重なり、災害への危機対応が問われた年でした。全国の生協では支援を継続していきます。くらしをめぐるっては、昨夏の米不足とその後の価格高騰は、米の生産と流通、生産の持続が可能な価格のあり方など多くの問題を投げかけました。新型コロナは、報道は減っているものの、感染は続いており、医療生協等の現場では行政からの支援もなくなる中でも多くの労力を割いて対応しています。

世界ではウクライナ、パレスチナガザ地区、レバノン、と戦争・紛争は拡大し、平和や経済の安定を脅かしています。

そうした中、国連は2025年を「国際協同組合年」と決めました。また、被爆・終戦から80年の節目の年になります。生協としては、改めて協同組合の意義と役割の認識を高めるとともに、被爆体験の継承と核兵器廃絶を推し進めていく所存です。皆さまにも変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

皆さまのご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピールへの 団体賛同・個人署名のお願い

大学や専門学校を合わせた高等教育機関への進学率は83.8%となり、奨学金の利用者は大学生の約半分まで達するなど、高等教育費の私費負担は限界に達しています。

一方、日本の出生率は75万人台となり一段と少子化が進みましたが、その背景のひとつには、子育てや教育にお金がかかりすぎることがあると言われています。

このため、中央労福協では、6月より「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」に対する団体賛同および個人署名等を展開することを確認しました。

【取り組み期間（集約期限）】 一次集約 2024年11月8日（金）、最終集約 2025年1月31日（金）

今、私ができること。
今、あなたができること。

高等教育費の負担軽減を

私たちが求めること

- 1 授業料を半額に
- 2 大学等修学支援制度の拡充を
- 3 奨学金返済の負担軽減を

Onlineで声を届けよう

公的負担の大幅拡充を！
団体賛同・個人署名で示そう

私たちのアクションにご参加ください！

団体賛同・個人署名はこちらから

すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト

このことを受けて、県労福協としても、各地区労福協、福祉事業団体にご協力をお願いしました。

2024年11月18日現在、岡山県内の「各地区労福協、福祉事業団体」として17団体のご署名をいただいています。なお、「労働組合、労働関係団体」としても25団体の署名をいただいています。

文部科学省へ第一次集約の団体賛同・個人署名を提出

11月13日には中央労福協の南部美智代事務局長を含む4名によって、全国からの第一次集約分を文部科学省へ提出し、要請活動が行われました。



【第一次集約分】

2024年11月11日時点

- ・団体賛同 2,407団体
- ・個人署名 16,081筆

プロジェクトメンバーからの
質問に答える文部科学省高等教育
局学生支援課共生課長
(中央労福協Webサイトより)

西部労福協「第9期理念・歴史・リーダー養成講座」

本講座は、21世紀社会に対応する新しい労働者福祉運動の構築にむけて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者（講師・リーダー）として、職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成を図ることを目的に開催しています。

開催日／2024年8月2日（金）～3日（土）

場 所／岡山市「ピュアリティまきび」

内 容／1. 「競争か連帯か」戦後労働運動と労働者自主福祉運動の
理念と歴史を振り返る

講師：中央労福協 講師団講師 高橋 均氏

2. 労福協の2030年ビジョンについて

講師：中央労福協 南部 美智代 事務局長

3. 分散会 「講義1・2を受講して」

ファシリテーター：徳島県労福協 梶本 一夫 専務理事

参加者／25名＋（傍聴）12名＋（事務局）2名＝39名



高橋 均 講師



参加者の皆さま



南部 美智代 講師

西部労福協「第42回研究集会」

日 時／2024年11月7日（木）13：30～19：30

場 所／サンポートホール高松／香川県高松市

出席者／金澤副会長、原田副会長、堅田専務理事

大本理事（玉野）、小林事務局次長（津山）

有元・福島事務局次長（県労福協）出席者総数80名

議 事

I. 講演① 「気候変動へのアクション 世界の潮流と日本の課題」

講師：日本環境ジャーナリストの会副会長 / 堅達 京子 氏

講演② 「脱炭素で強い地域経済を！」

講師：（一社）徳島地域エネルギー代表 / 豊岡 和美 氏

II. 交流会

講演①については、気候変動に対する取り組みが世界の潮流と比べ日本は遅れていること、実態として異常気象（温暖化）が顕著に発生していること、化石燃料からの脱却（再エネへのエネルギー転換）は止められないこと、次世代に対して責任があることなどが示され、脱炭素は我慢をするということではなく、生活をよりよくすると考える必要や、地域の農業なども含めた自給率を高める運動に繋げる必要性が述べられた。

講演②については、里山を宝の山とし、中央からの大資本に頼るのではなく、地方主導で脱炭素（太陽光・小水力発電・風力発電、木質バイオマス熱利用など）を軸とした強い地域経済を構築していく事例が紹介された。



堅達 京子 講師

「岡山県労福協」役員学習会

一般社団法人としての事業計画・予算案の策定、予算準拠主義の廃止、実施事業等会計、収益事業等会計、法人会計について学習するために開催しました。

日 時／2024年9月18日 15：00～16：00

対 象／岡山県労福協 理事会メンバー

内 容／「（一社）岡山県労福協の事業と決算について」

講 師／税理士 山本翼 氏（尾崎裕税理士事務所）



山本税理士（中央）

「岡山県労福協」研修会

岡山県労福協では「2024全国福祉強化キャンペーン」の一環として、これからの時代を担う若手組合役員（役員経験1～3年程度）を対象とした研修会を、「労働者の可処分所得の増加に向けて」をテーマとして下記のとおり開催しました。

日 時／2024年11月2日（土）9：30～12：00

場 所／労働福祉事業会館 5階大会議室

参加者／各地区労福協加盟の組合役員

（役員経験1～3年程度）、又は機関人

内 容／①開会挨拶 岡山県労福協 森 信之 会長

②講演1 「持続可能な未来のために」（30分）

講師：岡山県労福協 福島事務局次長

③講演2 「労働組合はなぜ共済運動を進めるのか？」

（50分）

講師：F PユニオンLabo

代表取締役 宮越 肇氏

④講演3 「家計の見直し運動」

とろうきんの魅力（45分）

講師：中国ろうきん倉敷支店

代理 小野 真由美氏

⑤教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール

岡山地区労福協 議長 時光 利加子氏

⑥閉会挨拶 岡山県労福協 堅田 裕之 専務理事

<出席者>総出席者数 60名

① 各地区労福協加盟の組合（役員経験1～3年程度）又は機関人 54名

地区労福協名	出席者数	地区労福協名	出席者数
岡山	14名	倉敷	12名
津山	5名	玉野	4名
笠岡	0名	井原	6名
総社	4名	高梁	3名
新見	1名	東備	5名

② 主催者側 こくみん共済coop岡山推進本部 1名、中国労金 1名、県労福協事務局4名



開会挨拶：森会長



参加者の皆さま

「岡山県労福協」出前講座

2004年度より、社会に巣立つ若者たちが『働くことの意義を確認し、同時に社会人・消費者として知っておくべき基礎知識を身につける』ことを目的として開催しています。

(開催状況)

開催日	会 場	内 容	人 数
2024. 9. 6	日本ITビジネスカレッジ	ワークルール講座	28名
2024.11. 8	県立倉敷鷺羽高校	消費者講座	125名
2024.11.15	県立倉敷鷺羽高校	ワークルール講座	125名
2024.12.17	県立倉敷商業高校	ワークルール講座	318名
2024.12.17	高梁市立松山高校	ワークルール講座（消費者教育含む）	17名

(今年度、1月～2月中に2校4講座予定)



倉敷鷺羽高校（消費者講座）



倉敷鷺羽高校（ワークルール講座）

生活応援基金

① 「一般社団法人 岡山子ども食堂支援センター」を支援

岡山県労福協では生活困窮者等への取組みとして2022年度より「生活応援基金」を開設し、具体的な支援先は県下一帯を対象とする活動について岡山県社会福祉協議会に相談のうえ決定しています。

2024年11月14日、昨年に引き続き中央労福協の「ろうふくエール基金」10万円と「生活応援基金」からの10万円の合計20万円の支援を行いました。

(助成を行った事業・活動内容)

「一般社団法人 岡山子ども食堂支援センター」

代表理事 川崎医療福祉大学 講師 直島克樹氏

(生活応援基金の使い方)

子ども食堂では特にタンパク質が不足しており、お肉などの購入を考えています。各食堂に必要な品目を募り、購入物資を決めて配分する予定です。



直島代表理事・森会長

② 「AMD A子ども食堂支援プラットフォーム」への支援を実施するため物資を贈呈

昨年と同様に連合岡山の要請により、今年度は具体的に希望のあった「環境に配慮した食器（フードパック・スープカップ・ペーパーボウル）や割りばし」10万円相当を「特定非営利活動法人AMD A」を通じて、県下の子ども食堂へ2024年12月23日に贈呈しました。

地区労福協ご紹介コーナー

玉野地区労福協

・玉野地区労福協の紹介

玉野地区労福協は19の単組で構成されています。

「福祉はひとつ」を合言葉に、ろうきん・こくみん共済coop・三井造船生活協同組合と連携して組合員の生活基盤の安定および豊かな暮らしの実現に取り組み、可処分所得の向上を図っております。

・玉野地区労福協の主な活動

玉野地区労福協 ボウリング大会

ネグザスボウル

《2024年1月17日（水）》参加者104名



開会挨拶



大会の様子

第49回ママさんバレーボール大会

玉野市総合体育館

《2024年9月29日（日）》参加者104名



開会式の様子



優勝の
和田チーム

2024年度たまの・港フェスティバル

宇野港第一突堤

《2024年5月18日（土）・5月19日（日）》



ビラ配りに
よるPR活動



ご協力頂いた
単組の皆様

玉野地区労福協 第1回福祉事業セミナー

瀬戸大橋カントリークラブ

《2024年11月29日（金）》参加者31名



ろうきん 渡邊講師



こくみん共済coop
神之園講師

・事務局あいさつ



玉野地区労福協事務局長の村中です。

玉野市は、岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた、風光明媚で温暖な気候の港町です。瀬戸内海の島々への定期航路やクルーズ客船の寄港地でもあり、瀬戸内国際芸術祭アート作品をはじめ様々なパブリックアートがちりばめられた宇野港をはじめ、瀬戸内海国立公園に指定されている景勝地「渋川海岸」「王子が岳」、また県下随一の規模を誇り自然を満喫できる「みやま公園」などの観光資源を数多く有しております。

来年は、「瀬戸内国際芸術祭2025」が開催されますので、どうぞ玉野へお越しください！！



こくみん共済 coop 岡山推進本部からのお知らせ

～災害時無保障者の解消を目指して～

こくみん共済 coop 岡山推進本部では、万一の災害で経済的に困窮する組合員が発生しないよう「災害時無保障者の解消」を目的とした啓発活動を進めています。

各組織におかれましては、こくみん共済 coop の「住まいる共済」を活用いただき、「無保障者ゼロ」に向けた継続的な取り組みの展開をお願いいたします。

**災害への備えが、
きっと「あなた」と「家族」の未来を守ります。**



地震



風害



水害



雪害

住まいる共済

火災共済・自然災害共済
風水害等総合金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

を活用した新たな取り組みがスタート！

みんなで
被災地応援プロジェクト



自分への備えが、誰かの支えになる。
「住まいる共済」は、地域社会の安心も高める商品です。

当会では、住まいる共済の**お見積もり1件につき100円**を被災地で復旧支援活動を行う**ボランティア（支援）団体**に寄付する取り組みをスタートしました。

あけまして

おめでとうございます

本年もよろしくお願い申しあげます。

二〇二五年 元旦

